

John Brookes dies aged 84

16 March 2018, by Matthew Appleby

Leading landscape designer John Brookes has died.



Regarded as the 'the man who made the modern garden', he died this morning (16 March) after a lifetime of designing gardens and landscapes in Britain and around the world. Some of his best-known gardens include the College Green Garden at Westminster Abbey, Fitzroy Square, Barakura English Garden in Japan, and the English Walled Garden at the Chicago Botanic Garden.

「モダンガーデンを造った男」として知られる、ジョン・ブルックス氏が 3 月 16 日に享年 84 歳で亡くなりました。生涯をかけて、イギリスのみならず、世界中のガーデンをデザインし、造園してきたブルックス氏の著名な庭には、ロンドンのウェストミンスター寺院のザ・カレッジ グリーンガーデンやフィッツロイ・スクエア、日本のバラクラ・イングリッシュガーデン、そして、シカゴ植物園のイングリッシュウールドガーデンなどが含まれます。

ブルックス氏は、1950 年後半にガーデンデザイン及び造園を始め、あらゆる気候、環境、スタイル、そしてどんな場所にも対応する、永続的なガーデンデザインの考えを発展させました。イギリスの中流階級層がガーデンデザインや造園に興味を持ち始めた黎明期に現れたブルックス氏は、過去 50 年における、最も影響を与えたランドスケープデザイナーとしても知られています。何千もの庭をデザインするとともに、世界 7 大陸のうち、6 ヶ国で園芸、造園、そしてインテリアデザインを教授しました。1950 年代後半から 1960 年代にかけて、英国のガーデンデザインのアプローチに改革を起し、25 冊以上にものぼる著書は 7 ヶ国語に翻訳され、イラン、アルゼンチン、日本、ロシア、アメリカを含む世界中で講演会が開かれました。

ブルックス氏は、チェルシーフラワーショウのショウガーデンに個人として出展した、最初のデザイナーでもあります。想像上のタウンハウスのインテリアとリンクさせた独創的な空間に設けた、腰掛けられるスペース、彫像、さらには焼却炉など、これまでに例のないアプローチをしました。その斬新的なアイデアは、あらゆる所得層の人々がデザインできるような、時代のニーズに応じた庭の提案でした。植物はデザインの一部でありながら、庭の目的に応じた従事的な存在で、(1969 年に発刊され、2007 年改定された) 画期的な著書「**Room Outside**」のタイトルにもなっているような、まさに「アウトサイドルーム」のような空間を提案しました。

2 年間、ロンドンのインチボールド スクールでインテリアデザインを教授した後、ウェストサセックス州のデマンズに、クロックハウス ガーデンデザイン スクールを設立。海外経験から、庭は公私問わず、文化、歴史、そして、既存の景観と繋がっているべきだと確信するようになりました。2004 年、ガーデンデザインと園芸界への貢献に対して、MBE (大英勲章第 5 位) の称号を取得。